

令和元年度 二本松市 戸沢7区保全会 集落活性化支援

活動報告

「大学生の力を活用した集落復興支援事業」

令和2年2月8日

筑波大学 生命環境学群 生物資源学類
国際資源開発経済学研究室農村開発研究班
代表 金子 知世



1 活動のねらい



1 活動のねらい

✓ 地域に存在する資源に注目

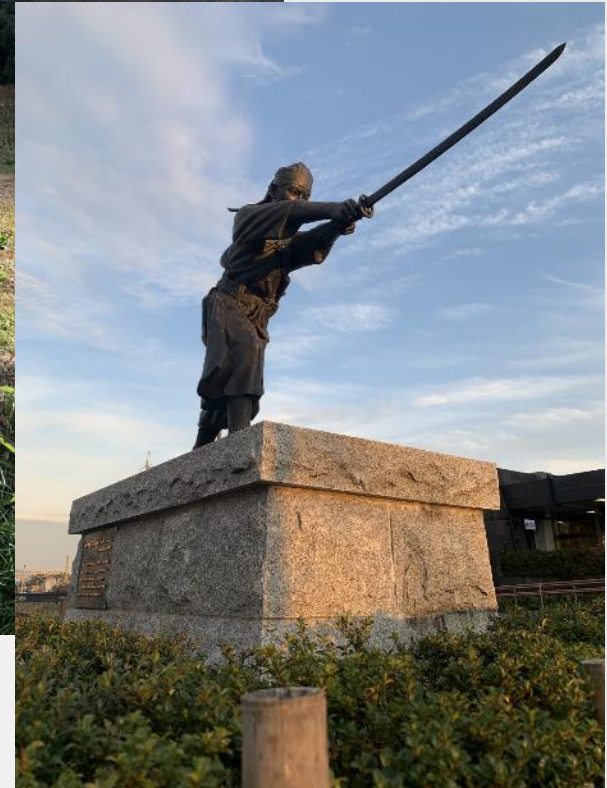
これらの資源の有効活用により、集落機能や共助システムを再構築したい

✓ 地域資源を利用した集落活性化

集落の構成員によって発掘・認識された地域資源を用いた集落活性化を実現したい

➡ 今年度：集落のみなさんの地域資源に関する考え方を調査・整理

2 集落について



2 集落について

- 設立背景：二本松市東和地区戸沢7区保全会
 - ✓ 平成19年3月
 - 農地・水・環境保全向上対策事業への対応
 - ✓ 構成員 土地保有者、水利組合など74戸
- 活動内容
 - ✓ 耕作放棄地等農業対策
 - ✓ 地域間交流等による地域活性化
- 問題の所在
 - ✓ 典型的な中山間地域，高齡化・耕作放棄の進展

3 今年度の活動内容



3 今年度の活動内容

- ① 令和元年 8 月 7 日
東和支所でのキックオフ・ミーティング
- ② 令和元年 9 月 23 日
役員会での活動打合せ（第 1 回）
- ③ 令和元年 10 月 19 日・20 日
役員会での活動打ち合わせ（第 2 回）
- ④ 令和元年 11 月 17 日・18 日
役員会での災害復旧活動打ち合わせ（台風被害）

3 今年度の活動内容 cont.

- ⑤ 令和元年11月30日・12月1日
**災害復旧活動（台風被害）への参加
対面によるアンケート調査（第1回）**
- ⑥ 令和元年12月21日・22日
**環境学習会への参加
対面によるアンケート調査実施（第2回）**
- ⑦ 令和2年1月25日・26日
**集落座談会：活動内容の報告と意見交換
外部評価（アドバイザー：農研機構 関根氏）**

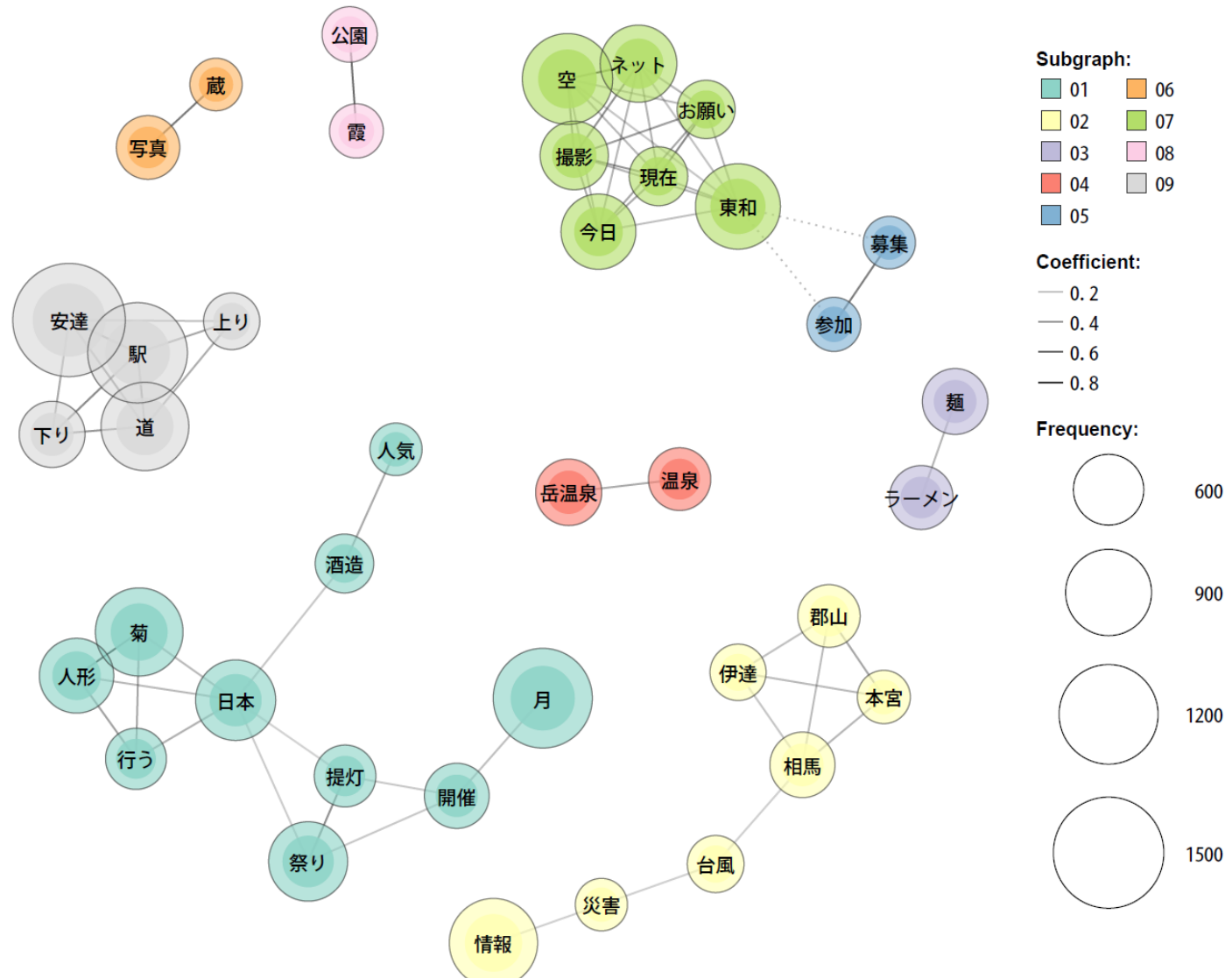
4 活動の成果① 地域資源の予備的考察



4 活動の成果① 地域資源の予備的考察

- 地域資源に関する予備的考察
二本松市に対する『声』の可視化
- 方法 1
 - ・ SNS「Twitter」上でのテキストマイニング
 - ・ 期間：2018年12月10日から2019年12月09日
 - ・ 「二本松市」をキーワードに発言を抽出・収集
- 方法 2
 - ・ 頻出語リスト, 共起ネットワーク図（次頁）
の作成 等

4 活動の成果① 地域資源の発掘・図示



5 活動の成果② 構成員の幸福感



5 活動の成果② 構成員の幸福感

- 地域の状況に関する予備的考察
主観的生活満足度指標による現状把握
- 調査方法
 - ・ 質問紙調査による幸福感の数値化
 - ・ 対面による聞き取り調査（11月・12月）
 - ・ 郵送によるアンケート調査（12月・1月）
- 分析方法
 - ・ リッカートスケールによる数量化 等

5 活動の成果② 構成員の幸福感 cont.

回答用紙 ②

令和元年度 二本松市 戸沢7区保全会 集落活性化支援

2019. 10. 07

主観的生活満足度に関する調査票

調査実施機関：筑波大学 国際資源開発経済学研究室 農村開発研究班

事業名：福島県「大学生の力を活用した集落復興支援事業」

連絡先：090-4382-2400 matsushita.shusuk.gb@u.tsukuba.ac.jp

担当者：松下秀介・清水悟

1. あなたは最近のご自身の生活全般について、どの程度満足しておられますか。

全く満足していない	完全に満足している
0	10

全く満足していない状態を0、完全に満足している状態を10とする11段階での満足度の評価をお願いします。

2. あなたの昨日の気分をお聞きます。

昨日の生活全般について、どの程度幸福感を感じられましたか。

全く感じなかった	1日中幸福感を感じていた
0	10

全く幸福感を感じなかった場合に0、1日中幸福感を感じていた場合を10とする11段階での評価をお願いします。

昨日の生活全般について、どの程度不安感を感じられましたか。

○ 数量化と比較分析については作業中

6 活動の成果③ 地域資源の発掘と評価



6 活動の成果③ 地域資源の発掘と評価

- 地域資源に関するアンケート調査
集落のみさなんの意見を抽出，活性化案の検討
- 調査方法
 - ・ 質問紙調査による幸福感の数値化
 - ・ 対面による聞き取り調査（11月・12月）
 - ・ 郵送によるアンケート調査（12月）
- 分析方法
 - ・ 階層化意思決定法（AHP）による優先度把握

6 活動の成果③ 地域資源の発掘と評価 cont.

- 調査内容
 - ✓ 世帯属性, 対象地区の居住期間 等
 - ✓ 地域資源としてアピールできるもの
(人、モノ、自然 等, 地域の資源全てを対象)
 - ✓ 地域課題 (地域活性化に取り組むための条件)
- 回収率 : 31.1% (74戸のうちの23戸)
- 抽出された4つの地域資源
 - ・ 階層化意思決定法 (AHP) による優先度把握

6 活動の成果③ 地域資源の発掘と評価 cont.

- アンケートから抽出された3つの地域課題
 - ✓ 集落外へのアピール度 ➡ 交流促進
 - ✓ 集落内での満足度 ➡ 参加意識の高まり
 - ✓ 持続可能性 ➡ 地域資源の再生産に向けて
- アンケートから抽出された4つの地域資源
 - ✓ 里山・自然 ➡ 地域の豊かな環境の利用
 - ✓ 祭り ➡ 地域の伝統と文化の再興
 - ✓ 農産物 ➡ 都会では味わえない自然の恵み
 - ✓ Sさんのビール ➡ あらたな地域特産物として

6 活動の成果③ 地域資源の発掘と評価 cont.

● AHPによる評価結果 地域課題 の重要度

	回答者 1	回答者 2	回答者 3	回答者 4	回答者 5
集落外への アピール度	0.3230	0.2431	0.0667	0.7147	0.0426
集落内での 満足度	0.1104	0.0462	0.4667	0.0668	0.1915
持続可能性	0.5666	0.7107	0.4667	0.2185	0.7660

○ 持続可能性への注目度が相対的に高い

6 活動の成果③ 地域資源の発掘と評価 cont.

● AHPによる評価結果 地域資源 の重要度

	回答者 1	回答者 2	回答者 3	回答者 4	回答者 5
自然・里山	0.1921	0.2354	0.5253	0.0791	0.6505
祭り	0.1649	0.0702	0.1637	0.5338	0.1307
農産物	0.3928	0.1061	0.2038	0.1349	0.1307
Sさんのビール	0.2502	0.5883	0.1072	0.2522	0.0882

○ 回答者によって重要と思う地域資源にバラツキ

6 活動の成果③ 地域資源の発掘と評価 cont.

- 回答者2（会長）と回答者5（Sさん）に注目

回答者2（会長）



持続可能性 = 次世代への継承
後継者不足への危機感
Sさんのビール 優先度 高
祭り 優先度 低

回答者5（Sさん）



持続可能性 = 自然・里山
全ての根元
自然・里山 優先度 高

○ 自然・里山を次世代に継承するという共通課題

7 今後の課題



7 今後の課題

★ 集落のみなさんからの意見を取り入れた地域資源活性化案のさらなる発掘と具体化

✓ アンケート回収率：31.1%

➡ 集落のみなさんからの意見聴取の継続

✓ 特に、65歳以上の回答者の構成比：31.8%

➡ 高齢の構成員からの意見聴取の必要性

★ 地域活性化のための集落活動のスタート

✓ 持続可能な地域活性化案の実行に向けて

**福島県二本松市戸沢7区保全会の皆さま
本年度の当研究室の活動の受け入れについて
本当にありがとうございました**

